



ファースト・コンタクトは私たち 外来スタッフ



みなさん、こんにちは。産婦人科外来の清水です。外来の紹介ということで、今回はスタッフのを中心にお話したいと思います。

みなさんが産婦人科外来で最初に会うのが受付です。受付はピンク色の縦じまユニフォームを着ているメディカさんが担当で(写真の右側の2名)、外来受付の他にメッセージ業務も行っています。受付は患者さんと病院とを結ぶ最前線です。2名とも話しやすいスタッフですので、医師や看護師に知らせたいこと、疑問やご不満などがありましたら、何でもお申し付けください。

産婦人科外来を担当する外来専属看護師は、写真の左側の6名です。このうちの3名+病棟からの助産師2名の合わせて5人が毎日の外来に出ています。

6名の外来専属看護師のうち、産婦人科に出ている3名以外はどこにいますか？ 実は外来専属看護師は複数の科を担当するので、本日もいないメンバーは別な科にいます。産婦人科以外では、内科、心臓血管外科、耳鼻科、神経内科にいますので、今度その辺りも注目していただくと嬉しいです。

私たち看護師スタッフは、診療がスムーズに進むよう介助をしたり、検査や入院の説明や、妊婦さんの保健指導をするのが大まかな仕事ですが、一緒に来るお子さんの相手をするのも大切な仕事です。子供をみる人がいないので病院に来る事ができないという方は、どうぞお子さんと一緒にいらして下さい。看護師スタッフは、診療中お子さんに危険がないよう目を配ったり、保育とまではいきませんが、相手をする事もできます。外来には抱っここの赤ちゃんから1人で座って待ってられる小学生まで、いろいろな年代のお子さんが一緒に来ていますので、診療中お子さんの事が気がかりな方は、遠慮なくご相談下さい。

もう一つの大事な仕事は、妊婦さんと医師、病棟助産師との橋渡しです。診療中に医師に聞きそびれた事があるとか、病棟助産師に相談したい事があるけれど、今日は保健指導の日ではないので尋ねる事ができないという事もあるでしょう。そんな時は、外来看護師に尋ねて下さい。坂井、中村、そして私清水は助産師でもあります。外来看護師で解決できなければ、医師や担当チームに確認します。次回の妊婦健診まで一週間~数週間もあるわけですから、心配事はそのままにしないで、遠慮なく尋ねて下さいね。

産婦人科外来平面図	内診室 ①	内診室 ②	婦人科 ③	不妊再来 ④	産科 ⑤	エコー室 ⑥	内診室 ⑦	説明室・NST室 ⑧
	受付 血圧・体重							

③、④診入口

⑤診入口

へその緒通信

オリジナルTシャツ作りました

須貝亜希子、巳亦圭子、高野留美(左から順に)の3助産師が着ているのは、このほど製作された当院産婦人科のオリジナルTシャツです。色は、4つの助産師チームに対応した赤(ピンク)、青、黄、橙、それに黒の5色でサイズはSから3Lまで5種類あります。

プリントされているデザインは、子宮の中に頭を下にしている(頭位)胎児の絵で、当院の古俣真弓助産師の作品です。お腹の赤ちゃんということで、プリントの位置が



通常のTシャツより下でお腹の位置となっています。文字は、赤ちゃんにやさしい病院(BFH)にちなんで、Saiseikai Niigata 2 BFH と記されています。「胎の子が逆さに眠り大暑かな」(中山純子)という俳句がありますが、まさにそんな絵です。

これを着てアピタなどに行くのはちょっとという意見もあるでしょうが、ご希望の方がいらっしゃいましたら頒布いたしますので、助産師に声をおかけください。



外来待ち時間短縮のためのお願い

産婦人科外来ではいつも長時間お待たせして大変ご迷惑をおかけしています。医師の側でも、前日にカルテチェックして患者さんの把握(予習)をする、患者さんの前で書く必要のない書類、指示票等は後で夜間や休日に処理するなど、努力しております。しかし、どうしても処置や説明などに時間のかかる場合があり、新患が相当多い場合(予約者が優先ですが)には予約時間の遅れは避けられません。

ただ患者さんの側でも、待ち時間短縮でご協力いただけることがあります。特に朝1番の予約の方はぜひ時間を厳守してください。例えば 8:30 の予約の方が皆 9 時近くに来られますと、その間外来診療が始まらず、以後が押せ押せになります。また、患者さんのご都合で予約が満杯の時間帯に無理に入れますと、遅れるのは目に見えています。さらに、売店等でお席を外される場合も、受付にひとこと声をおかけください。何度もお呼び出しをする無駄が省けます。このように受付を最大限ご活用ください。